

基本構想策定後の市民意見※の整理とその対応について（1/2）

新交流複合施設
整備基本構想(案)
について

市民主体の構想を

- ・市民が主体的になるような基本構想を
- ・箱を作るのではなく、誰がどのように利用するのか、市民がそこに集まって何かできるというコンセプトをしっかりと立てることが必要
- ・将来の人口減少を見据えた計画になっているのか？
- ・基本構想は抽象的すぎるのももう少し具体的に

- ・将来人口、事業費、財源を見据え、施設の使い方も含め具体的な基本計画としていきます。

構想に賛成！

- ・構想自体は大いに賛成
- ・大変興味があり楽しみ
- ・商業施設を市が提供することに賛成
- ・新庁舎は必要
- ・以前、市庁舎は構想になかったが、今回は含まれていて良い

建設予定地について

中心として相応しい・避難施設として機能・移動しやすい

- ・ここに庁舎が移転することは賛成
- ・留萌市の中心として相応しく感じる
- ・浸水の恐れはあるが、周辺住民や観光客などの避難先としてよい
- ・予定地の近隣に避難施設がなく、平地に一時避難所があるのは望ましい
- ・平地であることが、高齢者の移動のしやすさに繋がる

- ・建設予定地は、留萌市ハザードマップにおいて洪水浸水深0.5～3.0m、津波浸水深0.0～0.5mの浸水が想定されており、皆さまが災害リスクについて懸念されることは十分理解しております。
- ・建設予定地については、「留萌川多段階の浸水想定区域図」によるリスクの発生頻度も合わせて考慮し、想定し得る最大規模の降雨にも対応できる施設整備とすることで、通常時の利用はほぼ問題ないと判断し、建設予定地を駅周辺地区といたしました。。

ここでいいのか疑問

- ・建設予定地について適切なのか疑問
- ・災害を考えると、建設場所が適当でない
- ・留萌の街の中心がどこか、防災や子どもたちのことも考え、本当にここでいいのかということを出発点とするべき

財源・予算が不安

- ・予算的な裏づけが問題
- ・予算の問題、ランニングコストの問題はいささか不安
- ・予算、ランニングコストなど、市民に説明すべき
- ・財政面は心配
- ・財源確保の状況を見ながら規模などの計画を。

ここに建てるのであれば

- ・港が近い場所に建てても大丈夫と市民に安心してもらえることで、心配や不安を払拭
- ・市民に防災意識をしっかりと持つよう努めることが大事。市民に避難場所、経路を周知することが必要。
- ・災害を考えると、嵩上げした方がよい
- ・過去に川が氾濫した経緯があり、防災の拠点とするためにクリアしなくてはいけない部分がある

防災面が不安

- ・防災の観点から絶対に安全はない
- ・防災の問題と津波が心配
- ・防災拠点としてどうなのか
- ・災害の際に機能するのか不安
- ・防災機能が実際機能するか不安
- ・庁舎は庁舎として作り、防災場所は別に設けるなど切り離して考えてみてはどうか

計画策定の進め方について

計画期間が短いのでは

- ・今後の構想から計画、計画から設計に移る期間が短すぎるのでは
- ・実施設計までの時間がないので心配。市民が納得する時間が少ない

議論の場が必要

- ・50年に1回のことなので、これからの留萌のためにも市民と団体、企業、行政含めてワンチームで議論していく形が理想
- ・第7次総合計画と非常にリンクすることから、財源を含めて集中議論する場が必要

多様な意見を聞く

- ・様々な年代から意見を拾い集めてほしい
- ・スポーツセンターや文化施設を利用している人から意見を聞くべき
- ・学生の意見を聞くことも大事

道の駅や中心市街地との連携

- ・港、道の駅、新交流複合施設をワンパッケージにして留萌を盛り上げていく
- ・港から道の駅、新交流複合施設の動線の一体化が大事
- ・道の駅、モンベルがあり、商業的にも駅前に人の流れを作っていけるといい
- ・高規格道路から道の駅と駅前の動線の中で、駅前に行政機関があり、商店街に人流を作ることが必要
- ・駅前は空き店舗が多いため、チャレンジできるような仕組みができないか
- ・駅裏に、観光客も来てくれるような地元を生かした地元市場の様なものがあると良い
- ・新しく商業的施設を入れることが必要なのか、近隣商店街や道の駅の物販の妨げにならないか

施設の運営について

- ・運営を市民が行うなど、市民感覚が必要
- ・人口も減り、財政面からも出来る範囲で縮小し、目の届くような運営をすれば良い
- ・上手に運用していかないといけない
- ・ホールについて、現在中学生や高校生を呼び込んで使用しているのは非常に良い。今後は発表会なども留萌に誘致してほしい
- ・持続的な運営のため、民間だけでなく市役所も収益を見込める仕組み作りが必要
- ・公共施設でテナント床を作り、収益を上げていくのは、難しいのではないかと

交通機能・交通計画について

- ・公共交通はターミナルのような位置づけ
- ・各社が協力し、庁舎が駅前にくるにあたり、交通の便を改善してほしい
- ・使い勝手のいい公共交通は必須、冬季の豪雪も鑑みた動線確保も重要
- ・交通機能は複合施設を経由する形にして、多くの市民が利用でき、市内外の方々が入り込んでくる様にしてほしい
- ・新交流複合施設からの市内バスの循環を含めて、公共交通機関はどうなっていくのか。
- ・今後デマンドバスが必要となるのではないかと

- ・市民に愛され、利用される施設となるためには、施設運営が重要と考えます。
- ・官民が連携した施設整備・施設運営に向けた検討を進めるとともに、市民の意見が反映できる、市民との協働による運営体制の構築を目指していきます。

- ・新交流複合施設の整備にあたっては、公共交通によるアクセスが可能であることも非常に重要なポイントと考えております。
- ・バス事業者とも協議を進めながら、バスによるアクセスやバス待合スペースについて検討していきたいと考えています。

- ・基本計画策定にあたっては、関係団体や市民団体、市民委員も入った委員会で議論し、1年間かけて検討を進めていきます。
- ・策定経過を広報やホームページで公開するとともに、市民のみなさまが意見を寄せられる環境を提供していきたいと考えています。

- ・道の駅や船場公園、中心市街地との連携については、留萌市の活性化を図る上で非常に重要なことと捉えております。
- ・検討委員会においても十分に議論をして基本計画に反映していきたいと考えています。

※下記会議における市民からの意見
 ・令和6年度第1回まちづくり懇談会（R6.8.28実施）
 ・令和6年度市民と議会の意見交換会（R6.10.3実施）
 ・令和6年度町内会長会議（R7.2.8実施）

基本構想策定後の市民意見※の整理とその対応について（2/2）

